幼保連携型認定こども園　ＹＭＣＡつるみ保育園

２０２０年度入園案内（教育利用・１号認定）

|  |
| --- |
| もくじ  １．ＹＭＣＡについて　　　・・・・・・・２ページ  ２．教育・保育の理念　　　・・・・・・・３ページ  ３．園について　　　　　　・・・・・・・４ページ  ４．利用時間  ５．諸費用  ６．預かり保育  ７．園の一日　　　　　　　・・・・・・・５ページ  ８．年間スケジュール  別紙１　諸費用　　　　　　・・・・・・・６ページ  別紙２　預かり保育　　　　・・・・・・・７ページ  ２０２０年度募集要項　　　・・・・・・・８ページ |

社会福祉法人横浜ＹＭＣＡ福祉会

幼保連携型認定こども園　ＹＭＣＡつるみ保育園

　　　　　　　　　＜住所＞　横浜市鶴見区平安町2－２８－１ヨコハマアイランドガーデン

　　　　　　　　　＜電話＞　０４５－５００－５０３０＜Fax＞　０４５－５２１－００１２

１．ＹＭＣＡについて

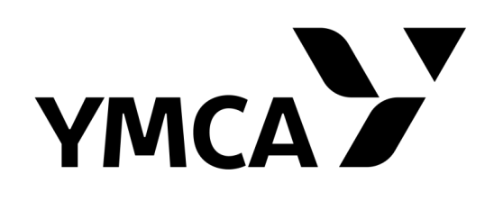
YMCAとは、Young Men’s Christian Associationの略称（日本語ではキリスト教青年会）で、1844年にジョージ・ウイリアムズら12名の青年によってロンドンに創立されました。当初は青年たちによる信仰活動でしたが、広く地域・社会活動に発展し、現在では世界119の国と地域で活動が展開されており、国連のNGO（非政府組織）の一員として、国際協力・難民救済などでも活躍しています。

　乳幼児から青少年のSpirit（精神）・Mind（知性）・Body（身体）の調和ある発達を助け、社会と隣人に奉仕し、民主的社会の発展に寄与する目的をもって活動しています。

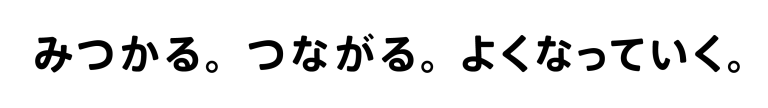
横浜YMCAは、1884年に設立され、青年の聖書研究から始まった活動が、徐々に広がり、現在では子どもから高齢者まで地域に根ざした活動を展開しています。

　横浜YMCAの最初の保育園は、1989年、厚木YMCAに無認可保育園として誕生しました。1999年に初の認可保育園「ＹＭＣＡとつか保育園」を設立し、2019年4月から認可保育園12園に加えて、幼保連携型認定こども園2園、小規模保育園1園を新たに運営しています。

**YMCA ブランドロゴ**



**YMCA ブランドスローガン**



**YMCAブランドコンセプト**

私たち日本のYMCAは、

**・ブランドバリュー**　　　　したい何かがみつかり、誰かとつながる。私がよくなる、かけがえのない場所。を提供し、

**・ブランドビジョン**　　　　互いを認め合い、高め合う「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。ことを目標とする、

**・ブランドパーソナリティ**　心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ。団体です。

２．教育・保育の理念

理 念　イエス・キリストの愛と奉仕の精神に基づき、一人ひとりのいのちが輝く平和な社会の実現を目指します。

使 命

【子ども】一人ひとりの子どもが愛されていると感じることができるように守り育てます。

【家　庭】子どもの成長をともに喜び合えるように家庭と手を携えていきます。

【地　域】地域の人々と、ともに生きる社会の形成を担います。

保育目標　Spirit Mind Bodyがバランスよく成長する子ども

**Spirit（精神・こころ）「信じることのできる子ども」**

・自分自身が周囲から愛され信頼されていると感じ、基本的信頼感が十分に育つこと

・小さな達成感を積み重ね、自分に自信を持つこと

・一人ひとりが生きる喜びを感じることで、心と身体の調子を整え、生きる力を育むこと

**Mind（知性・ちえ）「考えることのできる子ども」**

・「これはなんだろう? なぜだろう?」という好奇心を十分体験すること

・「考える楽しさ」をもとに、創意工夫する「考える力」を身につけること

・他者とともに生きる知恵を育むこと

**Body（身体・からだ）「すこやかな子ども」**

・乳幼児期に「快・不快」の感覚を身につけ、健康な生活を身につけること

・「栄養（食事）」「休養（睡眠）」「運動と生活リズム」のバランスを良くとり, 健康な身体をつくること

・基本的な生活の技術を身につけること

**＜保育の特色＞　【わたしたちは子どもたちの主体性を大切に育てます】**

乳幼児期は人間形成の基礎を築く大切な時期です。

園では、基本的な生活習慣を身につけるとともに、保育者や仲間とのふれあいを通して、自分に自信をもち、他者を大切にしていくことを学んでいきます。

　私たちは、子どもたちの主体性を大切にします。そのために一人ひとりが興味を示した遊びの領域の中で、話しかけたり、問いかけたりしながら、学ぶ動機を与えていきます。その中で、子どもたち自身が“何ができるのか”“何が好きなのか”“どうすることが最良の方法なのか”“どうすることが価値のあることなのか”を見つけ出していくことが大切だと考えます。

私たちは、子どもたちがその感覚を用いて学ぶことができるように見たり、聞いたり、触ったり、匂いをかいだり、味わったりする機会を多く提供します。学ぶことは前進の過程であり、相互的なものです。子どもたちは保育者や仲間から学び、保育者も子どもたちから多くのことを学びます。

園での共通の体験を通じて、おとなも子どももともに「育ちあう」ことが私たちの願いです。

３．園について

　①設置者：　社会福祉法人横浜ＹＭＣＡ福祉会

　②名称：　　幼保連携型認定こども園　ＹＭＣＡつるみ保育園

　③利用定員：

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| クラス | ０歳児 | １歳児 | ２歳児 | ３歳児 | ４歳児 | ５歳児 |
| 1号定員 | － | － | － | ４人 | ４人 | ４人 |
| 2号定員 | － | － | － | １０人 | １０人 | １０人 |
| 3号定員 | １０人 | １０人 | １０人 | － | － | － |

④特色：

　　幼保連携型認定こども園　ＹＭＣＡつるみ保育園では、ＹＭＣＡの理念にしたがって次の５つのポイントを特色として、教育・保育をおこなっています。

1. 子どもの主体性を育む保育／②自然にふれ、健康な心と体と豊かな感性を育む保育／③さまざまな活動や遊びを通して子どものやってみたい気持ちを大切にする保育／④違うことの大切さを認める保育／⑤仲間と共に育ちあう保育・異年齢保育。

４．利用時間

月～金　　９：００～１３：００ 教育標準時間

　　　　　　　７：３０～　９：００　預かり保育

　　　　　　１３：００～１８：３０　預かり保育

春季休業　　３／２４～　４／　５

　　夏季休業　　７／２１～　８／３１　　（うちお盆休み５日間は休み）

　　冬季休業　１２／２４～２８　１／　４（１２／２９～１／３は閉園日）

５．諸費用

　　別紙１

６．預かり保育

　　別紙２

７．園の一日（教育標準時間＋預かり保育）

7:30 預かり保育（合同保育）

9:00 登園　朝の会（教育標準時間）

11:30 給食

13:00 降園（順次）／預かり保育開始、午睡

14:00 身体を休める時間、または午睡

15:30 起床、ゆったりと過ごす時間、おやつ

18:30　預かり保育終了

８．年間スケジュール（幼児・予定）

　（４月）全体懇談会　親子遠足（５月）花の日（６月）５歳児夏季キャンプ

　（７月）夏季休業　＜7/21-8/31＞　（９月）つるみフェスタ（バザー）

　（１０月）スポーツフェスタ　４歳児お泊り会　（１１月）収穫感謝祭　アドベント礼拝

（１２月）キャロリング　クリスマス礼拝　冬季休業＜12/24-1/5＞（１月）５歳児冬季キャンプ　（３月）引き渡し訓練　卒園式　お別れ遠足　イースター礼拝　出発式　春季休業＜3/24-4/5＞

　　＜毎月または年間実施の活動＞

４・５歳児プール、幼児体育遊び、幼児英語遊び、おべんとうの日など

　　　＊誕生会はその日に行います

＜保護者参加の行事＞

入園説明会、入園式、全体懇談会、個別面談、スポーツフェスタ　運動会

クリスマス、クラス懇談会、引き渡し訓練、（任意：保育参加）など

　　＜その他＞

　　　内科検診、歯科検診、尿検査、視聴覚検査、身体測定など

　　　以上

別紙１　諸費用

※２０１９年度をベースに算定していますので変更になる場合があります

　　　　最終的な金額は重要事項説明書で提示させていただきます。

1. 教育・保育の提供に要する実費に係る利用者負担金

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費　目 | 内容、負担を求める理由及び目的 | 金　　額 |
| １・２号主食代 | 主食食材費 | 月額　　２，０００　円 |
| １・２号副食費 | 副食食材費 | 月額　　４，５００　円 |
| 災害共済給付掛け金 | スポーツ振興センター法に基づく制度 | 年額　　　　１６２　円 |
| ４歳児お泊まり保育 | 食事、備品等の実費として | ２，０００　円 |
| ５歳児夏キャンプ | 宿泊費、食費、交通費等実費 | １５，０００　円 |
| ５歳児冬キャンプ | 宿泊費、食費、交通費等実費 | １５，０００　円 |
| プール遊び | ４～５歳児　１回／月　程度 | １回　　　　５００　円 |
| 連絡帳 | 教育・保育活動の備品実費として | ０歳１２０円　他９０円 |
| おたよりバッグ | 教育・保育活動の備品実費として | １５０　円 |
| 園帽子 | 教育・保育活動の備品実費として | １歳児以上２，４８４円 |
| 氏名ゴム印 | 教育・保育活動の備品実費として | ５００　円 |
| アルバム代 | 教育・保育活動の備品実費として | ８００　円 |
| アルバム用写真代 | 教育・保育活動の備品実費として | ５歳児４５０円 他３００円 |
| こひつじノート | 教育・保育活動の備品実費として | 幼児のみ　　６００　円 |

以上

別紙２

預かり保育のご案内

　急な用事や、保護者の就労等の理由により、教育・保育時間の延長をご希望される場合は、預かり保育をご利用できます。

　当園では、横浜市型預かり保育（通常型）を実施しています。利用要件や利用手続き等の詳しい内容は「令和2年度横浜市幼稚園・認定こども園利用案内（施設型給付園）」をご参照願います。

１．内容

①実施時間：　　　　平日　　７：３０～　９：００、１３：００～１８：３０

　　　　　　　　　　土　　　７：３０～　１５：３０

②実施日：　　　　　平日、土曜日　および以下の春季・夏季・冬季の各休業期間中

　　　　　　　　　　春季休業　　３／２４～　４／　５

　　　　　　　　　　　夏季休業　　７／２１～　８／３１

　　　　　　　　　　　冬季休業　１２／２４～２８　１／　４

（１２／２９～１／３は閉園日）

　　③利用できない日：　休園日（日曜日、国民の祝日、年末年始、予め園が定めた日）

２．利用要件

　①「施設等利用給付認定２号」を受けた児童（ただし育休中の場合は利用できません）

②「教育・保育給付認定１号」を受け、保育を必要とする児童※

* ＜保育の必要性の認定基準＞

月48時間以上64時間未満の範囲で、

・会社や自宅を問わず、働いているとき

・病人や障がい者、要介護者を介護しているとき

・大学や職業訓練校などに通っているとき

３．利用手続き

　①「施設等利用給付認定２号」を受けた児童

→「給付認定決定通知書」を園に提出

　②「教育・保育給付認定１号」を受け、保育を必要とする児童

　　　→就労（予定）証明書等の利用要件を満たすことを証明する書類を園に提出

　③入園後は、利用前月２０日までに所定用紙に記入し事務所に申し込み

４．利用料金

　横浜市型預かり保育実施園が、幼児教育・保育の無償化による給付を、保護者に代わって受領することにより、利用者負担は０円となります。

以上

幼保連携型認定こども園　ＹＭＣＡつるみ保育園

２０２０年度募集要項（教育利用・１号認定）

１．利用定員

３歳児（２０１６年４月２日～２０１７年４月１日生まれ）４名

４歳児（２０１５年４月２日～２０１６年４月１日生まれ）４名

５歳児（２０１４年４月２日～２０１５年４月１日生まれ）４名

２．応募資格

　①あらかじめ園見学をしていること

②ＹＭＣＡ保育園の教育・保育方針に賛同され、本園での教育・保育が必要であること

　③集団生活ができること（特別に配慮を要する場合は要相談）

３．入園までのスケジュール

①願書の提出

募集要項・願書配布　１０月１５日（火）～１０月３１日（木）

　　願書提出期間　　　　１１月　１日（金）～８日（金）

②選考

１次（書類）選考結果郵送　１１月１３日（水）

２次選考面接日　　　　　　１１月２０日（水）※時間は指定させていただきます

２次選考結果郵送　　　　　１１月２７日（水）

③入園内定

　　入園内定後、園から認定申請に必要な申請書等の書類を受け取ります

④給付認定申請・・・・申請については、横浜市「令和2年度横浜市幼稚園・認定こども園利用案内（施設型給付園）」をご参照ください

⑤給付認定決定通知書の交付・・・鶴見区から交付されます

⑥園との利用契約・・・・園に給付認定決定通知書を園に提示し、利用契約を結びます

⑦入園説明会　　　　２０２０年３月７日（土）

⑧利用開始　　　　　２０２０年４月１日（水）

４．出願手続き

　①受付期間　１１月１日（金）～８日（金）午前９時～午後６時

　②受付場所　幼保連携型認定こども園ＹＭＣＡつるみ保育園　事務所

　③提出物　　入園願書

５．入園審査

１次選考　書類（入園願書を基に審査いたします）

２次選考　面接（１次選考通過者のみ）

＜お問い合わせ＞

社会福祉法人横浜ＹＭＣＡ福祉会　幼保連携型認定こども園ＹＭＣＡつるみ保育園

住所：〒２３０－００３１　横浜市鶴見区平安町２-２８-１ ヨコハマアイランドガーデン

電話：０４５－５００－５０３０

以上